

## 和牛甲子園 岐阜県立大垣養老高等学校 発表概要

5年前、「なぎさ系」で和牛甲子園 最優秀賞をとるためのプロジェクトを始めた。私たちの入学前に出品牛は決まっていた。今回の出品牛は長期肥育になったことで3つのリスクがあった。

- ①肥育後期の体重増加の停滞。
- ②尿石症のリスク向上。
- ③飼料費の増加。

代々の先輩方から対策が検討され、引き継がれ、実行した。

- ①発酵飼料を添加し、肥育後期の飼料摂取量の安定化を実現した。
- ②尿石症予防の添加剤や採血とエコー検査による飼料設計の見直しをした。
- ③自給飼料や早期出荷で飼料費の削減をした。

また、西南濃地域だけではなく、郡上市や高山市の農家さんにもアドバイスをもらい実践してきた。令和3年8月より鹿児島全共特別区出品に向けた集畜、研修会の際にも他校の生徒と情報交換をした。毎日の残飼料、引継ぎ事項などはLINEなどで連絡、牛に合う適正量を手探りで検討してきた。私たちの最終目標は「岐阜県の風土に合う『飛騨牛』を造り出す」ことである。